

「川崎市の防災対策」と外国人が本当に困ること

知らない土地で被災したらどうすればよいのでしょうか？ 地震のない国から来た人は？……こわい でしょうね。何とかしてあげたいですね。でも、もし、自分自身も被災していたら…さて、私たちは何ができるのでしょうか？……



▲ボランティア研修会

川崎市の防災対策

- 災害前の準備** 3日分の食料(保存食)、飲料水一人1日3Lを各家庭で準備する。その他、欠かせないもの(例:乳幼児のミルクやメガネの予備など)
- 災害が起きたら** まず、自分の安全を確保。次に家族の安全、自宅の安全、周囲の安全を確保。家を離れる前に、必ずブレーカーを落とす。必ずガスの元栓を締める。→電気が停まって、次に通電した時、電気器具や配線から火災が発生しやすい。
- 避難所** プライバシーがない。トイレも並ぶ。夏は暑く、冬は寒い。⇒だから、必ず避難所ではない。必ず学校へ！ではない。危険性がなくなったら、自宅での生活が基本。

外国人支援施策

川崎市国際交流協会による平成21年度 ボランティア研修会

田村太郎さんの講演から 『災害時における外国人支援について』



こころの壁
習慣・文化の違いから生じる避難所生活でのトラブル。

例1 避難所のフロアでの靴履き(日本人はすぐ靴を脱ぐ。外国によっては、寝床以外は靴履きの習慣がある。)

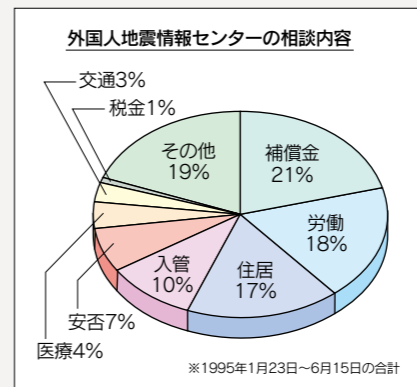
例2 配給物資について「どうぞ自由に」といわれ、親戚・仲間のみで確保してしまう。(避難所には、毎日食料が届くことを知らない。)

制度の壁

在留資格によって日本での活動に制限があり、個々に対応するのが難しい。また、健康保険未加入者が多く、高い医療費を支払えずに治療を受けられない人がいて、最後は市・県・国で支払うこととなった。

外国人地震情報センター設立

阪神・淡路大震災時は、県内に約8万人の外国人が居住し、そのうち約2万人が日本語の話せない人だった。震災の2日後には、外国人のための「情報センター」を立ち上げた。



7言語(英語・中国・韓国語・ドイツ・フランス・ポルトガル語など)でスタートし、1週間で約200人のボランティアが集まり、半数以上の人々が外国語ネ

お花見には少し肌寒い3月27日、多文化共生センター大阪代表理事 田村太郎氏の貴重な体験談を聴き「災害時どうすればいいの?」「ボランティアとしてどんな活動があるの?」等の問いに対する大きなヒントを頂きました。田村氏は1995年(15年前)阪神・淡路大震災直後に被災地に駆けつけ、外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」を設立し、2004年の新潟中越地震や2007年の新潟中越沖地震では、地元の自治体や国際交流協会とともに、多言語情報提供や避難所巡回活動を支援されました。

◆震災直後の避難所では 指定避難所に入れる人は60%ほど。その他の人は市役所や図書館など公共施設や公園などに避難した。早いもの勝ちになり、多くの外国人は被災直後にどうしてよいか。どこへ行ってよいかわからず、避難が遅れた。

◆外国人が震災後直面した課題 日常から生じていた異文化による壁が、災害時により高くなった。

言葉の壁 かなり日本語を理解している外国人でも情報を誤解した。

例1 電車がフツウです→不通(電車は動いていない)ではなく「普通電車は走っている」と思い、駅に行った。

例2 幼稚園はキュウエンします→休園を救援と解釈し、救援物資を求めに幼稚園に行った。

川崎市の災害情報入手方法

川崎市防災マップ
避難所、広域避難場所、給水拠点、医療機関等が記載された各区の防災マップは、区役所で入手可能。
川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
<http://www.city.kawasaki.jp/16/16kiki/home/sonaeru/sonaeru-top.htm>
<http://k-map.kikikanri.city.kawasaki.jp/>

備える.かわさき
日本語版
<http://www.city.kawasaki.jp/16/16kiki/home/sonaeru/sonaeru-top.htm>
英語、中国語、朝鮮・韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語版
<http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/sitemap.html>

防災行政無線
避難所、広域避難場所、急傾斜地などに設置。災害時に緊急情報を流す。

防災テレホンサービス
0120-910-174 (神奈川県内の一般の加入電話、公衆電話、一部のIP電話) **無料**
044-245-8870 (携帯電話、PHS、一部のIP電話、神奈川県外の加入電話) **有料**

地上デジタル放送
テレビ神奈川(3ch)
災害情報や気象情報など。

メールニュースかわさき
緊急情報や地震情報、気象警報・注意報、天気予報、光化学スモッグ情報等を自動で配信。
【パソコン】
mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp に空メールを送る。
【携帯】
mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp に空メールを送る。

川崎市ホームページ
①災害時、トップ画面に緊急情報を表示
<http://www.city.kawasaki.jp/>
②防災情報ポータルサイト
<http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/>
③川崎市防災気象情報
<http://kishou.kikikanri.city.kawasaki.jp/>

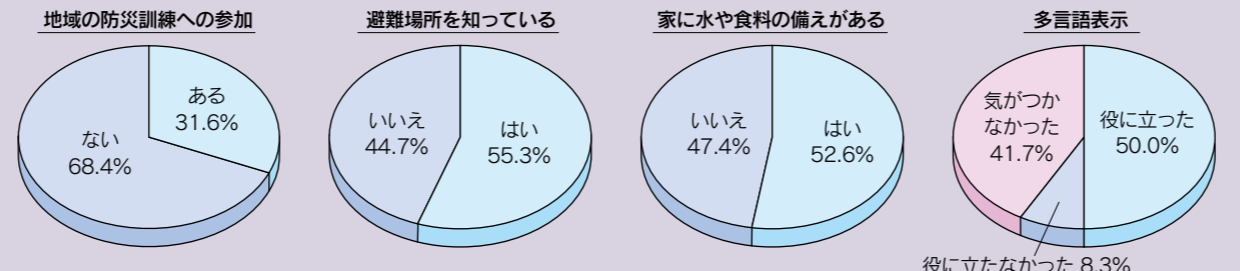
交流センターによる防災訓練

2010年2月23日(火)実施

「防災訓練」に参加した外国人のアンケートより



▲地震体験車で震度7を体感！ ▲煙体験ハウス



- 今日体験した中で何が一番勉強になった？
- 1位 消火器の使い方
 - 2位 煙体験ハウス
 - 3位 地震体験車
 - 4位 多言語情報
 - 5位 救命救急情報

感想

- 普段から準備をしておけば、あわてないですむ。
- 日本で初めて体験しました。地震がおきたら一番大切なのは、避難です。
- 起震車を体験する前に、地震が起こったときどう対処すればよいか、地震に備えて、何(ものや食べ物等)を準備すればよいか等の説明がもっとほしかったです。